

## 日本ロールシャッハ学会主催 第16回 ロールシャッハ研修会

このたび大阪にて第16回ロールシャッハ研修会を開催する運びとなりました。昨今の臨床現場の傾向では、心理アセスメントは、より簡便な数値化に置き換えられる質問紙法が主流となり、施行や分析に時間や労力がかかるロールシャッハ法は、敬遠される現状があるようです。しかし、ロールシャッハ法は、心理臨床実践におけるアセスメントにはとても有効です。その魅力をできるだけ多くの人に知ってもらい、今後の心理的援助に活用していただきたく、分科会では、ライブスーパーヴィジョンに加えて、医療、司法領域の臨床実践を各々とりあげる研修を企画しました。その体験を全体会では、共有し、より理解と学びを深めていきます。大学院生の方にも参加していただきやすい参加費設定をしております。どうぞ奮ってご参加下さいますようご検討下さい。皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

2024年1月吉日 第16回ロールシャッハ研修会準備委員会

\*\*\*\*\*

◇日程◇ 2024年5月19日(日) 10:00~16:15

### ◇研修会プログラム◇

9:30~10:00 受付

10:00~12:00 分科会

A 高橋 昇先生(愛知淑徳大学)

B 坂井 新先生(とじまクリニック)

C 川畑直人先生(京都文教大学)

12:00~13:15 昼休憩

13:15~16:15 全体会:ミニレクチャー 川畑直人先生

分科会振り返り(各講師、事例発表者、参加者)・全体討論

司会 日下紀子(研修会準備委員長)

### ◇場所◇

エル・おおさか(大阪府立労働センター)

〒540-0031 大阪府中央区北浜東3-14 電話 06-6942-0001

交通アクセス:Osaka Metro 谷町線・京阪電鉄「天満橋駅」下車西へ300m

Osaka Metro 堺筋線・京阪電鉄「北浜駅」下車東へ500m

### ◇分科会テーマ◇

#### A 高橋昇先生(愛知淑徳大学):スーパーヴァイザーは臨床事例の発表から何を学ぶのか

この分科会は、スーパーヴァイザーの養成コースという位置づけです。臨床歴が長くなるに伴って、私たちは「終わりなき研修」に巻き込まれていきます。初心の頃から始まり、まだまだ不十分と感じ続けることが、より深い理解を到来させるでしょう。何が足りないのか明らかにすることが、より良いスーパーヴィジョンに繋がると考えます。ライブでそれを行い、初心者から熟練者の方とともに考えたいと思います。

※臨床事例を募集いたします。技法は名大法か片口法が良いですが、生のプロトコルがあれば対象者の生き方が見えてくるものと思いますので、ご応募下さい。これも出会いですね。

#### B 坂井新先生(とじまクリニック):医療の現状に応じたロールシャッハ活用法“あれこれ”

医療では実施することが少なくなったロールシャッハ法の、臨床現場に則した活用法についてお伝えします。例えば、認知症の精査で、簡易にロールシャッハがバッテリーとして組み込まれ、見方さえ知っていれば、幅のある鑑別が可能になり、現実には治療方針が覆る場合もあるでしょう。当日は、医療の現状を整理し、事例エピソードに則して、ロールシャッハ法の組み込み方や見方などを、具体

的にお伝えすることで、皆さんひいては被検者にとって意味ある活用を考えたいと思います。

### C 川畑直人先生（京都文教大学）：少年矯正におけるロールシャッハ・テストの活用

この分科会では、行動統制が極めて悪く、人格の偏倚が激しい性非行少年に対する矯正処遇において、ロールシャッハ・テストの結果を活用する道を探ります。はじめに、ロールシャッハ・テストの結果について、特に反応生成プロセスの分析という観点から検討を行います。その上で、少年院内での少年との継続的な面接を、テスト結果のフィードバックを含め、どのように進めていくか検討します。最後に、少年院における矯正処遇との連携のあり方についても考えたいと思います。

#### ◇全体会ミニレクチャー◇ 講師：川畑直人先生「ロールシャッハ・テストはどのようなテストか」

短距離走と新体操を対比させるなら、ロールシャッハ・テストは明らかに後者に類似しています。子どものロールシャッハ反応を研究した Leichtman, M. (1996)は、このテストの本質は、曖昧刺激の知覚実験よりも人物描画検査に近いと指摘しています。とすれば、私たちは、スコアリングによって得られる数値を見比べるよりも、反応生成のパフォーマンスの吟味・鑑賞に力を入れるべきではないでしょうか。そのための鑑識眼を磨く工夫について考えたいと思います。

#### ◇定員：120名（各分科会コース40名程度 先着順）◇

受講資格：「臨床心理士」もしくは「公認心理師」有資格者、臨床心理学や精神医学を専門とする専門職、もしくは臨床心理学の大学院生で守秘義務を課せられている方。なお、日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイント（2ポイント）が認められています。臨床心理士有資格者で、研修条件を満たした方には、研修証明書を配布いたします。

#### ◇参加費◇

・日本ロールシャッハ学会 正会員 6,000円／非会員 7,000円 ・大学院生 2,000円



#### ◇参加申し込み方法◇

右のQRコード (<https://forms.gle/oBpIX5QxwbPXSHsIA>) から Google フォームにアクセスしてお申し込み下さい。申込および参加費振込共に、期間は、2024年2月1日（木）から2024年4月20日（土）です。（\*分科会Aの事例発表希望者は3月末日まで）

各コースの受付は先着順となります。ご希望に添えない場合もありますのでご了承下さい。参加費は下記口座にお振込み下さい。

【振込口座】「ニホンロールシャッハガツカイシュサイケンシュウカイ」

ゆうちょ銀行からの振込口座：普通 記号 12400 番号 02044831

他金融機関からの振込口座：ゆうちょ銀行金融機関コード 9900 店番 248 普通 口座番号 0204483

\*参加申込フォームに記入した氏名にてお振込み下さい。尚、振込手数料は、振込者の負担にてお願いいたします。申込者の都合によるキャンセルでの返金は原則いたしません。

#### ◇当日の受付について◇

受付は各分科会会場教室前にて行います。分科会会場は当日掲示にてご確認下さい。

#### ◇昼食◇

会場内に売店はありませんが、飲み物の自動販売機は各フロアにあります。天満橋駅・北浜駅から会場までの途中に、コンビニ・飲食店はあります。昼食は、研修会会場教室内でお召し上がりいただけます。

第16回ロールシャッハ研修会準備委員会 ([rorschach.osaka2024@gmail.com](mailto:rorschach.osaka2024@gmail.com))